

学部長

インタビュー

はじめに、大阪公立大学（仮称）文学部（以下、文学部）とは、どのような学部ですか？

時間と空間を共有しながら学び合うことを大切にしていること、これが最大の特徴です。前身である大阪市立大学文学部の歴史ある伝統を引き継ぐものです。

まず、全国でも有数の徹底した少人数教育があります。学生は、研究型大学院に所属する一流の研究者である教員と、身近に時間と空間を共有しながら学ぶことができます。授業時間のみならず、その前後の時間も含めて、学生どうしが時間と空間を共有しながら切磋琢磨していくことを重視しています。



文学部長
そえだ はるお
添田 晴雄 先生

また、小さな総合大学と呼べるほどの多様な学問を学ぶ人々が文学部という時間と空間を共有しています。しかも、特定のコースに所属するのは二年生からですので、一年生の間は、大学での学びとは何か、文学部の各コースではどのような学問をどのように学べるかを、時間と空間を共有しながらじっくり考えてからコースを選ぶことができます。

文学部ではどのような力に身に付きますか？

文学部で身に付ける力は、一言で言うとコミュニケーション能力です。グローバル化や個性化が進んでいる社会では、自分とは違う価値観、感じ方、考え方も多様な人々とも協働できる力が必要です。新型コロナウィルス禍によって、これまで経験したことがない事態に直面したわれわれは、こうした多様な他者とのコミュニケーションの大切さを身に参み感じてきました。しかし、ここで求められるコミュニケーション能力は、気の利いた語彙を身につけた

り、流暢にしゃべったりすることだけではありません。それらは、コミュニケーション能力のごく一部でしかありません。多様な他者と協働するために、協働する相手のニーズを把握し、考え方や感じ方を十分に観察し、さらには、その背景にある価値観や文化的・社会的・歴史的文脈を踏まえて、論理的にそして人間的にコミュニケーションしながら、合意形成を図ることが大切です。同時に、自己内対話を通して自分を客観的に分析し他者との違いを踏まえてコミュニケーションすることも大切です。文学部では、こういった高度なコミュニケーション能力を、人文研究や人間研究といった学問的探究に基づいて身につけていただきます。また、卒業論文の作成過程を通じて、人間にかかわる事象を科学的に考察し、自分の考えを論理的に相手に説得できる能力を身につけていただきます。その結果として、卒業時に「学士（文学）」を授与します。

文学部生にどのような学びを期待しますか？

前述のような高度なコミュニケーション能力を身につけるために、人間の根源的な営みを考究する哲学歴史学科、人間の行動を学際的、実践的に研究する人間行動学科、人間の「文（あや）」や心の「ひだ」に直接関わる文学、言語、文化を探究する

言語文化学科、文化の社会的活用を考究する新進気鋭の学問分野である文化構想学科の四学科、計十五コースの多様なカリキュラムを提供しています。少人数教育の特徴を活かして、時間と空間を共有しながら学んでいただきます。授業時間以外でも、学生どうしが時間と空間を共有して、グループ発表の準備をしたり、励まし合ったりすることを重視します。文学部棟にはそのようなことが可能になる学生の居場所を用意しています。

文学部ではどのような意識をもった学生に来てほしいですか？

人間に興味のある人、時間と空間を共有しながら学び合うことに魅力を感じる人、人文研究や人間研究に裏付けされた高度なコミュニケーション能力を身につけた社会の形成者として活躍したい人、人文研究や人間研究の研究者として社会に貢献したい人を歓迎します。

最後に、読者の方へメッセージを願っています。

「文学部案内」は、学生が自主的に企画・運営することを重視しつつ、多様なコースの教員と学生が協働して編集した冊子です。時間と空間を共有して学び合う文学部の方針を具現化したものとしてもご覧いただくとありがたいです。

目次

- 2…学部長インタビュー
- 3…カリキュラム & 学科コース一覧
- 4…コース選択制度&体験談
- コース紹介
- 5…哲学歴史学科
- 8…人間行動学科
- 12…言語文化学科
- 17…文化構想学科
- 20…教員紹介
- 22…留学・国際交流
- 24…資格
- 25…進路
- 26…学生生活インタビュー
- 28…座談会
- 30…受験体験談
- 31…支援機構紹介



文学部・文学研究科教育促進支援機構
公式マスコットキャラクター

りてらちゃん